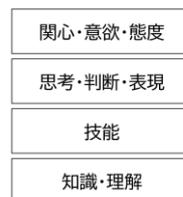


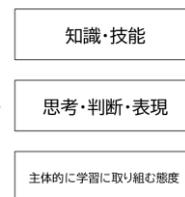
学びの進化！～評価の観点が変わります～

今年度から新学習指導要領の全面実施に伴い、学習評価の仕方が変わります。新学習指導要領では、「生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力,判断力,表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養う」としており、観点別学習状況の評価に関しては、従来の4観点(国語科は5観点)から3観点に整理されました。

[平成20年度改訂]



[平成29年度改訂]



	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
どんな力?	実際の社会や生活で生きて働く力	未知の状況にも対応できる力	学んだことを人生や社会に生かそうとする力
どんなところを評価する?	各教科の学習過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行う。また、学んだ知識や技能を、すでに知っている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に理解したり、技能を習得したりしているかを評価する。	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決することなどに必要な思考力,判断力,表現力等を身に付けているかどうかを評価する。	継続的な行動や積極的な発言など、学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかなど、意思的な側面を評価する。
具体的にどう評価する?	○単元テストや総合実力テストなどのペーパーテスト ○文章による説明,実験・観察,式やグラフでの表現など,知識や技能を用いる場面 など	○単元テストや総合実力テストなどのペーパーテスト ○論述・レポートの作成や発表 ○グループでの話し合い ○作品の制作や表現 など	○ノートやレポートの記述 ○授業中の発言 ○教師による行動観察 ○生徒による自己評価や相互評価 など



【Q】 どうして変わるの？

【A】 学校で学んだことが明日そして将来につながるようにするためです。

これからの世の中は、社会の変化に目を向け、社会の変化を柔軟に受け止めながら自らの人生を切り拓いていく力をつけていくことが大切だと言われています。人や社会のために役立つ何かを創り出す力を授業を通してつけていきましょう。